

<埋戻し工の写真管理基準について>

1. 埋戻し工の写真管理基準

項目	写真管理項目		留意事項
	撮影項目	撮影頻度 [時期]	
埋戻し工	仕上り厚	50m 程度又は 1 施工箇所 ^{※1} に 1 回 [埋戻し前]	マーキング等で各層の仕上り厚が確認できること。
	敷均し	50m 程度又は 1 施工箇所に 1 回 各層毎 [施工中及び施工後]	埋戻し材料が確認できること。
	転圧	50m 程度又は 1 施工箇所に 1 回 各層毎 [施工中及び施工後]	各層の最終転圧回数時 ^{※2} のみ撮影。完了時に所定の仕上り厚であるか確認できること。

※1 埋戻し工が連続している区間を 1 施工箇所とする。

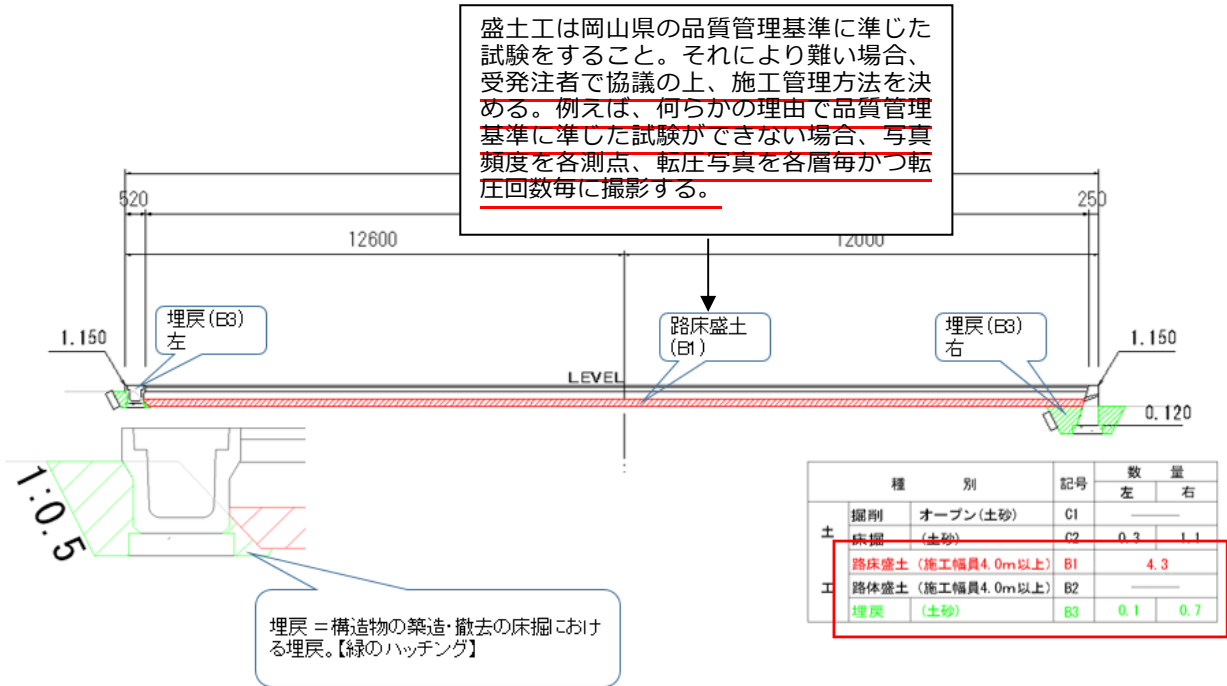
※2 5 回転圧の場合、5 回目転圧時のみ撮影。転圧回数ごとの撮影は不要。

・別途基準を定めている場合はこの限りでない。

(次項に続く)

- ・盛土工に関する施工管理は、岡山県土木部の土木工事施工管理基準に準じる。ただし、工事の種類、規模、施工条件等により、岡山県土木部の土木工事施工管理基準によりがたい場合、受発注者で協議の上、施工管理方法を決定し、施工計画書に記載すること。

<参考例：盛土と埋戻>



【問合せ先】
 倉敷市総務局総務部工事検査課技術管理室
 電話：(086) 426-3453